

令和7年度第1回美しい宮崎づくり有識者会議

1 日時

令和7年7月30日（水） 13時00分から16時00分まで

2 場所

県庁附属棟3階301号室

3 出席委員（10名）※敬称略

議長	関西 剛康	委員	根岸 裕孝	委員	飯塚 実
委員	吉村 一喜	委員	柴田 志摩子	委員	谷越 衣久子
委員	永井 佐代子	委員	日高 茂信	委員	猿澤 宗一郎
委員	金丸 徳男				

（欠席）委員 西 智子、委員 福永 栄子

4 議事等

【議事1】美しい宮崎づくり推進計画に基づく令和6年度における各施策の取組状況に対する評価・検証（資料6、資料7、参考資料1～3）

【議事2】令和7年度事業について

【議事3】企業版ふるさと納税・寄付による事業と
大学生と共同で進める「美しい宮崎づくり」の寄付募集事業について

5 委員からの主な意見等

【議事1】【議事2】【議事3】

○根岸委員

- ・景観づくり活動団体の登録数が目標に達していない。地域の商工団体なども実質的に活動しているので、登録団体として積極的に取り込むべきではないか。今後は周辺企業の協力も必要となってくるため、宮崎県からの積極的な働きかけがほしい。

○飯塚委員

- ・観光地の景観維持は重要。有名な観光地でも、木が伸びすぎていて景色が見えない場所がある。景観を守るという観点で、しっかりとした対応が必要。
- ・景観形成活動支援補助金はありがたい制度。今後も継続してほしい。

○関西委員

- ・「稼ぐ」という視点が重要。景観を美しくするだけでなく、それがどう経済効果に繋がるかを考えるべき。そうでなければ、活動は継続しない。

○根岸委員

- ・教育との連携が極めて重要。学校現場にもっと積極的に働きかけ、次世代を担う子供たちと一緒に取り組むべき。

○飯塚委員

- ・観光協会としては、行政の部局を越えた声掛け、連携をさらに進めてほしい。

○根岸委員

- ・大学との連携は非常に良い取り組み。今後も継続してほしい。高千穂通り沿いの企業へ協力を依頼するなど、積極的な動きが必要となってくるだろう。

【会議全体】

○日高委員

- ・有識者会議の開催頻度を増やすなど、県と委員がもっと密に意見交換できる場が必要ではないか。
- ・県と市町村の連携が本当に実効性をもってなされているのか。形式だけでなく、実質的な連携を強化すべき。